

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(8/8)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府等)	正	B 3.8	B 3.6 進捗度 ・ペット(犬・猫)等診療数 91% ・特区案内士登録者数 43% 等	B 3.6 規制の特例等 ・ペット(犬・猫)の輸入検疫制度の緩和 等 地域独自の取組 ・企業誘致奨励金(泉佐野市) 等	+0.2	<p>・国際空港が近いことに加え、国際交流の拠点としての要素として何を想定するのが課題ではないか。例えば、この地域の医療資源は国際医療交流として医療関係者を引き付ける魅力ある医療資源としての要素は何であるのかを明らかにする必要がある。</p> <p>・国際情勢の変化に対応した、目標達成のための代替策の検討(※)が必要。</p> <p>※: 例えば、特区案内士の登録者数について、国際情勢の影響(日中韓の関係)は直ちに解消される問題ではなく、今後の事業展開において中国人や韓国人の人材確保についての具体的方策や、それが難しい場合の代替的方策についての検討。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。